

2012年3月12日

No.146

# 又市征治 国政だより

又市征治事務所

発行責任者 東 篤

富山市下新町 8-16

TEL 076-441-0800

HP: [www.s-mataichi.com](http://www.s-mataichi.com)

3月9日、決算委員会において2010年度決算の審議がはじまりました。又市征治・副党首は、決算に関する検査院報告、特別会計改革、防衛産業の過大請求、原発関連予算のあり方、朝鮮高校への授業料無償化法適用問題について政府の見解を質しました。



## 無駄遣いを是正できない民主党政権

冒頭、又市副党首は検査院が総額4280億円を不適切と指摘したが、毎年同じような指摘を受けている。これでは消費税率のアップは国民の理解を得られないと述べました。野田総理は、改善の指示を出したというだけで又市副党首の問いには答弁できませんでした。

さらに又市副党首は、政府がすすめる特別会計改革の内容を具体的に質すと同時に、改革によって具体的にどの程度、財源をねん出するのかを明確にすべきだと政府に要求しました。

## 防衛省と防衛産業の癒着が生む過大請求

又市副党首は、三菱電機による2700億円有余の過大請求を取り上げ、過大請求根絶に向けた有効な対策を講じるべきだと主張しました。田中防衛大臣は違約金を2倍に引き上げたと言いましたが、又市副党首は、今回の事例でもわかるように違約金を2倍に引き上げても過大請求を根絶できない。防衛省から防衛産業への天下り規制を強化すべきと述べました。

## 不明朗な原発関連予算を追及

さらに又市副党首は、エネルギー特別会計の周辺地域整備資金の過大な積立、高速増殖炉開発に関して実際にかかった経費の1.5倍が支払われた点、「もんじゅ」にかかわる経費が過小に公表されている点等について追及しました。枝野経産大臣は指摘を認め改善を約束しました。平野文科大臣は、原発関連予算の透明度を高めると答弁しました。また又市副党首は、野田総理に「もんじゅ」の廃炉を要求しました。これに対し野田総理は、原子力政策大綱の見直しのなかで議論すると答弁しました。

また又市副党首は、原発事故の収束、復旧・復興費用にかんして東電と国の負担区分を明確にすべきと要求しました。

最後に又市副党首は、平野文科大臣に高校授業料の無償化法を一日も早く朝鮮高校に適用するように求めました。